

ジェネリック医薬品を知っていますか

「笛吹市国民健康保険通信」

医療費は、年々増加の一途をたどっています。医療費が増え続けられ、国保税での皆さんの負担が今以上に重くなります。そこで今回は、自己負担額の軽減や国保財政の健全化に効果があると思われる、ジェネリック医薬品（後発医薬品）について紹介します。

《ジェネリック医薬品差額通知書 見本》

平成24年04月に支払われた下記薬剤をジェネリック医薬品に切り替えられた場合、患者負担相当額が少なくとも2,314円以上安くなる可能性があります。ジェネリック医薬品への切り替えを希望するときは、医師・薬剤師にご相談ください。その際は「ジェネリック医薬品」への切り替えを希望します」とお伝えください。但し、症状などにより切り替えができない場合もあります。

処方箋	医薬品名	自己負担相当額	ジェネリック医薬品に切り替えた場合に削減できる自己負担額
①	アンブラード錠100mg	3,662	925～
②	オバルモン錠5μg	1,980	822～
③	オメプラール錠10 10mg	1,596	567～
	合計	7,238	2,314～

※1 お薬に掛かった金額のみ表示しております。実際の窓口支払い金額には、技術料・管理料等の別費用が含まれております。

※2 通知書発行時点で、同一成分のジェネリック医薬品に切り替えられた場合の自己負担軽減額をお知らせしています。但し、ジェネリック医薬品は複数存在していますので金額にも幅があります。

※3 表示されている医薬品は、ジェネリック医薬品が存在し、かつ対象疾患や削減効果などで絞り込みを行っていますので、服用中の全医薬品が表示されるものではありません。

※4 このお知らせはジェネリック医薬品への変更を推奨するものではありません。

通知の見方【差額 太郎さんの場合】

- ① 太郎さんが現在飲んでいるお薬（先発医薬品）が表示されています。
- ② 太郎さんがこの月に支払ったお薬のみの金額です。1ヵ月合計で7,238円支払っていることを表しています。
- ③ ①のお薬をジェネリック医薬品に変更した場合のお薬のみの金額です。1ヵ月合計で少なくとも2,314円以上お薬代が安くなることを表しています。

※この表示はお薬代のみですので、**実際窓口で支払う金額には、技術料・管理料等の費用が含まれます。**
 ※③の「ジェネリック医薬品に切り替えた場合に削減できる自己負担額」の金額は、ジェネリック医薬品の一番高い金額を表示しています。

●ジェネリック医薬品とは？

テレビCMなどで最近よく耳にするようになった「ジェネリック医薬品」とは、先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に販売される医薬品です。先発医薬品と同じ有効成分で同じ効能・効果を持つ医薬品のことです。

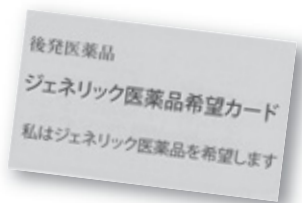
ジェネリック医薬品が先発医薬品と同じ品質、効能・効果、安全性を持っているか国が審査し、承認をしています。

●ジェネリック医薬品の値段は？

開発費などが抑えられているため、先発医薬品より低価格です。薬によっては、3割以上安くなる可能性があります。

●ジェネリック医薬品を利用するには？

ジェネリック医薬品を利用するには、医師・薬剤師の許可が必要ですので、かかりつけの医師・薬剤師にお話ください。「ジェネリック医薬品希望カード」を病院や診療所、薬局の窓口に出すと対応してもらえます。「ジェネリック医薬品希望カード」は、市役所窓口にありますので、お申し付けください。ただし、症状などによって、ジ



エネリック医薬品が利用できない場合があります。

「ジェネリック医薬品差額通知書」を送付します

ジェネリック医薬品の普及を図る取り組みの一つとして、ジェネリック医薬品差額通知書をお送りします。この通知は、40歳以上の国保ご加入の皆さんで、平成25年4月に病院で薬の処方を受けた人の中からジェネリック医薬品に変更することで100円以上の差額が出る人が対象となります。

ジェネリック医薬品への変更を強要するものではありません。ジェネリック医薬品に薬を変更した場合の薬代みの金額が表示されていますので、参考にしてください。



■問合せ先

国民健康保険課 国保総務担当
 ☎ 055(262)4111